

□第8期 第3回 外国人市民会議のまとめ

〔日時〕 令和2年（2020年）12月14日（月曜） 午後7時から午後8時15分

〔会場〕 市役所 第二庁舎 3階大会議室

〔出席者〕

委員：

- | | | |
|--------|-----------------|-------------|
| ・ 汪 穎 | ・ カドカ アディカリ ススマ | |
| ・ 洪 玉英 | ・ 孫 恩貞 | ・ 滝本 クラウディア |
| ・ 平井 菫 | ・ 廖 娟慧 | |

事務局： 山本人権文化政策監、堀山人権政策課参事兼課長、澤坂人権・同和担当主幹

片岡課長補佐、廣田主事、野邊

〔傍聴者数〕 6人

開会

案件1. 前回の会議の振り返り

- 資料1「第2回外国人市民会議のまとめ」を参考に、前回会議の内容について振り返りを行った。

案件2. 今後のスケジュールについて

- 資料2「第8期外国人市民会議の今後の予定」を使い、今後の予定について事務局より説明した。

案件3. 住み慣れた地域で健康に暮らすための提案について

- 資料3「第3回外国人市民会議について」を使い、意見交換を行った。

①「子どもたちが楽しく、健康に暮らすための給食のレシピや仕組み」について

- ・給食の内容について担任の先生と話し合っ、自分の国の料理などいろいろ作ってもらえ
ばいいと思う。果物や野菜をつかって、簡単な料理を家庭科の時間に作るのもいいのではな
いか。

- ・もっと中学校や高校の給食制度の導入を進めてほしい。周りの外国人のお母さんたちも
みんな、負担が減るため給食が必要だと言っている。

韓国のように食堂形式にしたらどうか。また、バイキングのように、子どもがメニューを選
べる楽しさを与えるのもいいのではないかなと思う。

子どもが、給食のパンが硬くて食べにくかったと言ってきたことがあった。子どもたちに
給食を与える前に、試食するなど確認してほしい。

給食に、毎日牛乳が出ていると思うが、牛乳が苦手な子どもがかわいそうだと思う。
もっと別の飲物を出したらどうか。

食中毒の危険があるため果物や生野菜を使いにくいことも分かるが、使っていなくても食
中毒になることはある。もっと生野菜や果物を給食のメニューに入れてもいいのではない
か。

- ・給食の制度を整えて欲しいという人は多いと思うが、食育を教えることや、親の愛情を
与えることが大事だと思う。

- ・日本の小学校の給食は、とても衛生的でおいしそうだと思う。しかし、コロナ禍の中で、
給食の時にクラスターが発生しないようにどんな対策をとっているかが心配である。

- ・料理のレシピはネットで調べることが出来る。必要なのは、家庭などで料理を作る人全体へ
向けた支援だと思う。

聞いた話だが、日本全体のお米や野菜の消費量が減っているらしい。

家庭にとって、共働きが良いのか、専業主婦が必要なのか、考えたい。

- ・通訳のボランティアで学校に行ったとき、給食を食べたことはある。そのときはおいしい

とは思^{おも}わなかった。

- ・学校^{がっこう}にボランティア^{ぼらんていあ}で行^いった際^{さい}に給食^{きゅうしょく}を食べ^たる機会^{きかい}があ^あったが、栄養士^{えいようし}の考^{かん}えたバラン^{ばん}スの良^よい食^{しょく}事^じを見て感^{かん}動^{どう}した。生^{せい}徒^とによ^よって好^すき嫌^{きら}いはあ^あると思^{おも}うが、同^{おな}じ食^{しょく}事^じをク^くラ^らスで一^{いっ}緒^{しょ}に食^たべ^{おも}られるこ^ことはい^いいこ^こで^ではな^ないかと思^{おも}う。

- ・日本^{にほん}の給食^{きゅうしょく}は感^{かん}動^{どう}して^{ていこうかん}いる。抵^い抗^{りょうり}感^{がい}はな^ない。家^{そと}の料^{しょくじ}理^り以^い外^がに、外^{そと}で食^{しょく}事^じをす^すること、給食^{きゅうしょく}を通^{とお}して日本^{にほん}の文^{ぶん}化^かに触^ふれるこ^ことも大^{だい}事^じであ^あると思^{おも}う。

- ・自分^{じぶん}の子^こ供^{ども}は、給食^{きゅうしょく}にど^めんなメ^めニ^にュー^ーがあ^あって^でも問^{もん}題^{だい}なく食^たべ^たて^たいる。し^しかし、外^{がい}国^{こく}人^{じん}の親^{おや}からし^したら給食^{きゅうしょく}のメ^めニ^にュー^ーは自^じ分^{ぶん}の国^{くに}の料^{りょう}理^りで^ではな^ないた^ため、様^{さま}々^ざ思^{おも}うと^ところはあ^あると思^{おも}う。自^じ国^{こく}の料^{りょう}理^りを年^{ねん}に1回^{かい}給食^{きゅうしょく}に出^だして^して^てら^らう^うなど、給食^{きゅうしょく}の^{ない}内^{よう}容^{よう}な^などに^がつ^がっ^がこ^こう^{そう}だ^んん^んと^とい^いい。

②「病^{びょう}院^{いん}の通^{つう}約^{やく}な^など、医^い療^{りょう}で外^{がい}国^{こく}人^{じん}が困^{こま}ら^らないた^ために必^{ひつ}要^{よう}なこ^こと」に^につ^つい^いて

<豊^{とよ}中^{なかし}市^しや国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}協^{きょう}会^{かい}、病^{びょう}院^{いん}にや^やっ^つて^てほ^ほしいこ^こと>

- ・日本^{にほん}語^ごが分^わか^から^らない人^{ひと}のた^ため^めにも、医^い療^{りょう}通^{つう}訳^{やく}は必^{ひつ}要^{よう}だと思^{おも}う。電^{でん}話^わ通^{つう}訳^{やく}があ^ある^しと^とい^いい。市^しや国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}協^{きょう}会^{かい}、病^{びょう}院^{いん}で話^はしあ^あい、外^{がい}国^{こく}人^{じん}が病^{びょう}院^{いん}とコ^こミ^みュ^ゆニ^にケ^けー^しョ^ょン^んと^とい^いい。

- ・国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}協^{きょう}会^{かい}と市^し、病^{びょう}院^{いん}で連^{れん}携^{けい}し、診^{しん}察^{さつ}があ^ある^し時^{とき}にど^どこ^この病^{びょう}院^{いん}に行^いった^らい^いか教^{おし}え^えて^て欲^ほしい。ま^また、外^{がい}国^{こく}語^ごで^での対^{たい}応^{おう}が可^か能^{のう}な病^{びょう}院^{いん}の紹^{しょう}介^{かい}を^をして^{して}ほ^ほしい。

前^{ぜん}回^{かい}の会^{かい}議^ぎで通^{つう}訳^{やく}にお金^{かね}がか^かか^かる^らとい^いう話^{はなし}があ^あった^が、外^{がい}国^{こく}人^{じん}は言^{こと}ば^ばが分^わか^から^らない状^{じょう}態^{たい}で病^{びょう}院^{いん}に行^いく不^ふ安^{あん}をか^かか^かて^てい^いる。そ^その^う上^え、通^{つう}訳^{やく}にお金^{かね}がか^かか^かる^らた^ため^めより強^{つよ}く不^ふ安^{あん}を感^{かん}じ^じる^らのでは。

- ・治^ち療^{りょう}のた^ため^めに自^じ分^{ぶん}の国^{くに}に一^{いち}度^ど帰^{かえ}る外^{がい}国^{こく}人^{じん}も^もい^いる。病^{びょう}院^{いん}に行^いけ^けばい^いる通^{つう}訳^{やく}で^ではな^なく、一^{いっ}緒^{しょ}に病^{びょう}院^{いん}に行^いける通^{つう}訳^{やく}が^が必^{ひつ}要^{よう}。

- ・中^{ちゅう}国^{ごく}で^では医^い療^{りょう}現^{げん}場^ばでAI^{あいえ}を使^{つか}っ^つて^てい^いる。AI^{あいえ}を^を活^{かつ}用^{よう}した翻^{ほん}訳^{やく}や、ポ^ぽケ^けト^とー^くク^くな^などが^が使^{つか}え^える^らのでは^はな^ないか。日^に本^{ほん}語^ごが^がす^すこ^こし話^{はなし}せ^せる外^{がい}国^{こく}人^{じん}に^に対^{たい}して^{して}は、医^い者^{しゃ}か^から適^{てき}切^{せつ}に情^{じょう}報^{ほう}を^を伝^{つた}え^えら^られる^らよう

にすることも^{だいじ}大事だ^{おも}と思う。

- ・知人^{ちじん}が病院^{びょういん}に行く^い際に^{さい}何度か^{なんど}、病院^{びょういん}について行き通訳^{い つうやく}をしたことがある。何か^{なに}通訳^{つうやく}の仕組^{しく}みがあればいいのだが。

- ・医療通訳^{いりょうつうやく}や国際交 流 協 会^{こくさいこうりゅうきょうかい}に対する意見^{たい}は特^{いけん}にはないが、初^{はじ}めて日本^{にほん}に^き来た外国人^{がいこくじん}に対して^{たい}は医療通訳^{いりょうつうやく}は必要^{ひつよう}だ^{おも}と思う。

<皆^{みな}さんや、市民^{しみん}同土^{どうし}で^と取^くり組めること>

- ・周^{しゅう}围^いの人の理解^{りかい}が大事^{だいじ}である。自治会^{じちかい}内^{ない}で回^{まわ}っているパンフレット^{ばんぷれっと}や回覧板^{かいらんばん}にふりがなが振^ふっていないという話^{はなし}を聞^きいた。自分^{じぶん}の住^すんでいる地域^{ちいき}では、外国^{がいこく}人^{じん}に対する理^り解^{かい}があるためかふりがなを振^ふってくれている。自治会^{じちかい}や地域^{ちいき}に対して支^し援^{えん}の呼^よびかけをしていけばいいのではないか。

- ・外国^{がいこく}人^{じん}同土^{どうし}の情 報 交 換^{じょうほうこうかん}が大事^{だいじ}であると思う。つい最^{さい}近^{きん}までマチカネくんチケット^{まちかねくんちけっと}の存在^{そんざい}を知^しらず、知^ち人^{じん}に聞^きいて初^{はじ}めて知^しった。市^しの広報誌^{こうほうし}に載^のっているとは聞^きいたが、日本^{にほん}語^ごが分^わからない人^{ひと}は情 報^{じょうほう}を知る機^き会^{かい}がなくなってしまう。市^しの情 報^{じょうほう}がうまく市民^{しみん}に伝^{つた}わっていない現^{げん}状^{じょう}を^{ざんねん}残念^{おも}に思^{おも}う。

- ・事^じ前^{ぜん}に病^{びょう}院^{いん}に行く^いことが分^わかっていれば、外国^{がいこく}人^{じん}自^じ身^{しん}が通^{つう}訳^{やく}の準^{じゅん}備^びを^でする^きことが出^で来る^きかもしれないが、急^{きゅう}病^{びょう}対^{たい}応^{おう}として言^{こと}葉^ばの支^し援^{えん}があればいいと^{おも}思^{おも}う。

新^{あた}しく豊^{とよ}中^{なか}市^しに^き来^{がい}た外国^{がいこく}人^{じん}が^{しえん}こ^{ひつ}と^ばの支^し援^{えん}が^{ひつ}要^{よう}か^{どう}か^を、手^て続^{つづ}き^{さい}の^し際^はに^あく^{ちか}、近^{ちか}くに^す住^すんでいるボランテ^{ぼらんて}ィア^{いあ}に呼^よびかけを^{おこ}な^なう^などが^いでき^いれば^い良^いい^{おも}と^{おも}思^{おも}う。

市^しの^{こう}報^{ほう}紙^しの^{なか}に^{がい}外国^{がいこく}人^{じん}向^むけの^{じょう}情^{じょう}報^{ほう}が^の載^のっていることはあるが、その^{じょう}情^{じょう}報^{ほう}に^{だけ}ふりがな^が振^ふっていることが^{すこ}し^{へん}変^{へん}だ^なと^{おも}思^{おも}う。外国^{がいこく}人^{じん}向^むけの^{こう}報^{ほう}があればいいと^{おも}思^{おも}うが。

- ・情 報^{じょうほう}が^ほ欲^ししい^{やく}ときは市^し役^{やく}所^{しょ}に^い行く^いように^いして^いる。

毎^{まい}月^{つき}広^{じょう}報^{ほう}の^い情^{じょう}報^{ほう}の^{いち}部^ぶが、英^{えい}語^ごの^めメ^ール^るで^{とど}届^{とど}く^{よう}にな^なっているが、市^しの^{こう}報^{ほう}誌^しにも、^{ひつ}必要^{ひつ}な^{じょう}情^{じょう}報^{ほう}を^{えい}英^{えい}語^ごで^の載^のせる^など^{して}は^{どう}か。

- ・日本語が上手な中国人が、SNS で中国人向けの情報を共有している。外国人同士で自主的に支援を行う必要があり、そのためのNPOがあったらいいと思う。

- ・洪委員の言うように、何か外国人同士が助けあえる仕組みがあるといい。

- ・医療通訳の制度を整えることも大事だが、病気にならないために、健康的な生活をしていくことも大事である。

③新型コロナウイルスについて、不安なこと

- ・病院にインフルエンザのワクチンを受けに行ったが、在庫が無かったためその病院では受けられなかった。知人の紹介により在庫のある病院に行くことは出来たが、中には受けられなかった人もたくさんいると思う。
新型コロナウイルスの影響で自分の国にいる親戚が亡くなり、ショックを受けている外国人もいた。

- ・感染者の情報はどこまで共有されているのか。大阪大学で感染が確認されたと聞いたが、複数あるうちのどのキャンパスで発生したものかは分からなかった。感染が発覚した地域の情報は欲しい。

- ・共働きで、二人ともコロナウイルスに感染した場合、子どもの面倒は誰が見てくれるのか不安だ。

- ・外国人向けの支援が難しくなっている。オンラインでの相談なども実施されているが、難しい部分もあると思う。コロナウイルスの感染者も増加しており、外国人に向けた支援が、本当に必要な人に届いているか心配している。

- ・コロナウイルスのワクチンは、本来実用が可能になるまで長い期間が必要なはずだが、数カ月で実用が可能になることについて不安を感じている。

あんけん
案件4. その他

→ じかい かいぎ についでいちようせい じむきょく せつめい
→ 次回会議の日程調整について事務局から説明した。

いいん じむきょく しつもん
＜委員より事務局に質問＞

・けんさ おおさか とよなか やす けんさ う
・PCR検査について、大阪・豊中で安く検査を受けられるところはあるか。受けるところで値段
ちが
の違いがあるのはなぜか。

→ じむきょく けんさ し あんか じつし げんじょうむずか きんがく さ
→ 事務局より PCR検査を、市で安価で実施することは現状難しい。金額に差があることに
いりようきかん にんい きんがく せってい
ついては、それぞれの医療機関で任意の金額を設定しているためである。

こん ごかんせん かくだい いりよう げんば ベッド あそく き
・今後感染が拡大していくと、医療の現場でベッドが不足すると聞いた。

→ じむきょく げんじょういりようほうかい いた たいせい ととの にんしき もんだい
→ 事務局より 現状医療崩壊に至っていないため、体制は整っているという認識で問題な
い。

へいかい
閉会